

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解科
目コード:130014

疾病・障害論ⅡA (各論1) Diseases and Disorders ⅡA

担当教員	岩佐和夫											
実務経験	医師として臨床経験のある教員が担当している。											
開講年次	1年次後期	単位数	2			授業形態	講義					
必修・選択	必修	時間数	30									
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	(4)	○	(5)	(6)				
Keywords	循環器疾患、呼吸器疾患、腎・泌尿器科疾患											
学習目的・目標	目的: 循環器系、呼吸器系、腎・尿路系について正常な構造と生理機能を理解し、各器官の異常により生じる疾患について、病態やアセスメントを行うために必要な知識を習得することを目的とする。 目標: 1). 正常な構造と生理機能を理解する。 2). 代表的な疾患における病態を理解する。 3). 各疾患について、症状、徴候、検査所見、治療、ケアについて理解する。											
授業計画・内容												
回	内容											
1	循環器系(1) 循環器系の解剖と生理、症候、心不全(急性・慢性心不全) :ワークシート、小テストあり											
2	循環器系(2) 心電図 :ワークシート、小テストあり											
3	循環器系(3) 不整脈 :ワークシート、小テストあり											
4	循環器系(4) 虚血性心疾患、心筋症、心筋炎、心膜炎:ワークシート、小テストあり											
5	循環器系(5) 心臓弁膜症、先天性心疾患:ワークシート、小テストあり											
6	循環器系(6) 高血圧、動脈疾患、静脈疾患:ワークシート、小テストあり											
7	呼吸器系(1) 呼吸器系の解剖と生理、症候、検査:ワークシート、小テストあり											
8	呼吸器系(2) 呼吸器感染症(肺炎、肺結核、肺真菌症)、胸水、無気肺 :ワークシート、小テストあり											
9	呼吸器系(3) 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、塵肺、サルコイドーシス:ワークシート、小テストあり											
10	呼吸器系(4) 気管支拡張症、無気肺、肺がん(原発性・転移性)、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍:ワークシート、小テストあり											
11	呼吸器系(5) 気胸、過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群、急性呼吸窮迫症候群、呼吸不全:ワークシート、小テストあり											
12	腎・尿路系(1) 腎・尿路系の解剖と生理、症候、検査:ワークシート、小テストあり											
13	腎・尿路系(2) 急性腎障害(AKI)、慢性腎臓病(CKD)、腎不全、腎代替療法:ワークシート、小テストあり											
14	腎・尿路系(3) 急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病腎症、腎硬化症、痛風腎:ワークシート、小テストあり											
15	腎・尿路系(4) 腎盂腎炎、尿路結石、腎細胞癌、尿路上皮癌、前立腺癌、精巣腫瘍:ワークシート、小テストあり											
教科書	看護のための臨床病態学(南山堂)、 PDF資料											
参考図書等	カラー図解 人体の正常構造と機能(日本医事新報社):図書館KinoDenから無料でアクセスできます。 看護師・看護学生のためのレビューブック(メディックメディア) 病気がみえる(メディックメディア)Vol.2「循環器」、Vol.4「呼吸器」、Vol.8「腎・泌尿器」 なるほどなっとく!解剖生理学(南山堂) なるほどなっとく!病理学(南山堂) 看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性(南山堂)											
評価指標	成績判定の対象者:出席2/3以上 成績評価:小テスト4割および定期試験6割の総合点で評価する。 小テストの締め切りはMoodle上に提示する。提出が遅れた場合は復習テストで提出できるが大きく減点する。											
関連科目	疾病・障害論 I、IIB、IIC、解剖生理学、生物学、人間病態学、フィジカルアセスメント、薬理学、看護学の各科目											
教員から学生へのメッセージ	臨床で患者さんの看護・介護を行う上でなくてはならない基本的な医学知識を学びましょう。教科書を読んで簡単に概念を理解したうえで授業に参加し、その日のうちに小テストを受けながら復習しましょう。自分の理解したことを友人や家族に説明できるか確認することも大切です。時間や手間暇を惜まず、解剖生理学や疾病の正しい理解から始まる土台をしっかりと構築することが、将来への礎となります。 患者・医療者双方から信頼されるプロフェッショナルをめざしましょう。											